横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.496 2019

YMCANews 8

2019年8月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721
横浜青年

和解から平和を創る

横須賀基督教社会館会長　阿部 志郎氏

横須賀YMCAで6月に開催された「阿部志郎先生を囲んで語り合う福祉の集い」（横須賀YMCA運営委員会主催）を通して、今号では、福祉のあり方や共に生きること、平和な社会を創ることについて私たちができることを共に考えていきたいと思います。

▲8月6日の原爆の日に向けて、広島へ届ける鶴を折るYMCAアフタースクールの子どもたち（日中韓YMCA平和週間「折鶴で思いをつなぐ平和への祈り」）

私が横須賀キリスト教社会館で働きはじめたある朝に、脳性まひと分かる4歳くらいの子どもを背負った若いお母さんの相談を受けました。お母さんは私に、「子どもと一緒にバスに乗りました。次のバス停から健康な同じ年頃の男の子を連れた母親が乗ってきて向いに座りました。その子がいたずらばかりするので、その母親は、そんないたずらばかりするとああいう子になるよと障がいのある私の子を指さして言いました。私は、この子のためにたいていのことは耐えてますが、今朝は、泣かずにはいられません」と話しました。私は、その言葉を聞いて、この子のために何かをしようと心に決め事業を始めました。それは、暴言を吐いた母親の姿を私自身の中に見たからです。

福祉は、罪のあがない、贖罪、和解です。和解は裁判用語で原告と被告が互いに条件を出し合い妥協することです。自分の犯した罪を告白し相手の許しを請い、相手がそれを受け入れる。そして、その両者が新しい理解と信頼に立つことを和解というのです。

1995年1月17日、阪神・淡路大震災で長田区で救出された4人は、役所や消防、警察、自衛隊の救助ではなく、隣の人や通りすがりの人が倒れた家屋から助け起こしました。私が神戸に入った時は雨でした。10代の茶髪の少年3人が、雨で濡れながら救援物資を濡らさないよう体でかばいながら運んでいました。他人のために働いたことがなかったであろう少年たちから人に寄り添う優しさを感じました。憂いに人が寄り添うと書いて「優しい」という字になります。

私は、19歳で兵役検査を受けました。若い時には立派な軍人を目指して、士官採用試験を受け合格しました。兵隊は赤紙1枚で無条件で軍隊に入り、何人でも集められます。軍馬は購入するため、人より馬のほうが大事だと言われました。人間は手段であり、消耗品であるという教育を受けました。今、考えると情けなく思います。従わないといけない。権威に服しました。自分では何も考えない。迷わない、疑わない。従うだけ。なんとおろかであったかと思います。私は戦場に出ないまま戦争が終結しました。

米国からの情報の中で、私がもっとも衝撃を受けたことは、アメリカの徴兵制度において良心的兵役拒否（conscientious objection）を認めていたことでした。「人を殺すな」という絶対平和主義を信じているクエーカーやメノナイト等の人たちの徴兵拒否を認めていました。徴兵を拒否すると実刑になった日本の軍隊との違いが強く心に響きました。生涯その良心を貫こうとする人を認め、良心を尊び、それに従うという想像を超える政策が米国で実行された歴史的事実には深く考えさせられるものがありました。

「良心に生きる」とはどういうことでしょうか。一般的には、信仰、思想、信条の自由と普遍的人権で構成されるものと解釈されています。私が聖書から学んできた良心とは、「心に記された法」と使徒パウロは言っており、「不義を喜ばず、真実を喜ぶ、高ぶらず、礼を失せず、恨みを抱かない」ことだと思っています。自分が主体的に決断し、行動し、平和を創る担い手に一人ひとりが良心をもって共に歩んでいきましょう。（文責　編集部）

1926年東京生まれ。1957年社会福祉法人横須賀基督教社会館館長に就任。2007年同館会長就任。2003年神奈川県立保健福祉大学初代学長就任。2007年同大名誉学長就任。日本ソーシャルワーカー協会会長、日本社会福祉学会会長、東京女子大学理事長を歴任。著書『福祉の哲学』(誠信書房)ほか多数。

ホドス

紙幣の人物像が変わるらしい。津田梅子の顔が5千円札に採用され、顔の向きが話題になった。それよりも先々代の5千円札像は、新渡戸稲造であったことの偶然に驚いた。新渡戸が前に登場した時、ニトベと読める人は少なかった。時の首相鈴木善幸と同郷者であったことで岩手県人を喜ばせた▼今度は新渡戸と師弟関係があることで驚かせる。新渡戸の言動は昔から話題が付きもので、一高校長から東大経済学部教授就任の時も日常経済に疎かったので驚かせた。新渡戸が在米中に妻や知人に『武士道』を講義し、日本語に訳されて有名になった。その時の聴者で出版に協力したのがアンナ・ハーツホンで、渡米後の梅子に協力し、津田塾創設にも携わったクエーカー信徒だ▼新渡戸は女子教育に熱心で津田塾では「アンクル・ニトベ」と呼ばれていた▼5千円札像二代にわたり縁者が出ることは偶然とはいえ興味深い配剤といえる▼大学を出ても就職できない安倍能成（後の文相）が新渡戸の元書生田島道治（後の宮相）に就職依頼した。「存外人の世話の下手だという新渡戸先生に私のことを頼んでくれ、新渡戸先生の言うことをきく唯一の場所だという女子英学塾に、その年の11月から出る」と安倍が書く。10年間勤めた後ドイツ留学してから大学教授になった。田島、安倍、卒業生神谷美恵子、新渡戸の系譜が困難な戦後の教育行政に貢献した。5千円札の肖像にも現代史の軌跡が残されている。（愛）